

部局名	生涯学習部	所属名	男女共同参画課	所属長名	澤田 利恵子	電 話	485-7088
-----	-------	-----	---------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4065		事務事業名称		男女共同参画推進事業					短縮コード		経常	4065	臨時	4066	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	13	男女共同参画費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		やちよ男女共同参画プラン懇話会設置要領 八千代市男女共同参画推進会議設置要綱									
		☐ その他															
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
平成6年度に憲法の保障する「個人の尊厳」と「両性の平等」を基本理念として、女性問題を解決し男女共同参画社会の実現を目指すため、「第1次やちよ男女共生プラン」を策定し、平成7年度にはこの基本計画を踏まえて「同プラン実施計画」を策定した。平成8年度からは同実施計画に基づき、全庁的に具体的な取り組みを実施し施策の推進を図った。また平成12年度には、「第1次やちよ男女共生プラン」による施策推進を見直し、男女共同参画社会基本法を理念とし、家庭や地域、働く場などの変化に対応するため、現行の「第2次やちよ男女共生プラン」（平成13～22年度）を策定した。平成18年4月からは「同プラン第2期実施計画」に基づき、男女平等の意識づくりを始めとする5つの主要課題解決のため、家庭や地域、働く場など、あらゆる場に男女がともに参画し、一人ひとりが能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指して、全庁的に、また市民とともに事業を推進している。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして							
現状では、性別による役割分担意識の是正、女性の政策方針決定分野への参画や就業機会の創出、出産育児に関する休業制度等の整備等、男女共同参画社会の形成が進んだ分野はあります。しかし、意識改革、ドメスティックバイオレンス、仕事と家庭や地域生活との両立、女性の職業能力の形成、あらゆる分野への男女の参画など、課題の解決は未だ十分に進んでいるとは言えず、また社会情勢の変化による生活困難を抱える人の増加や男性の課題として男性の孤立化にともなう日常生活支援など新たな課題にも対応していかなければなりません。 男女共同参画について一層の意識の醸成を図るとともに、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進し、市民・地域団体・企業等の主体的な参画と連携のもと、実践的に男女共同参画を推進していく必要があります。							大項目（節）		04	男女共同参画社会							
							中 項 目		01	男女共同参画社会							
							小項目（施策）		02	男女共同参画社会の促進							
細 項 目		01	男女が平等に豊かに暮らすことができる環境の整備														
						実施計画の計画事業		2401	第3次やちよ男女共生プラン基本計画・実施計画の策定								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成23年3月			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	男女共同参画推進会議・幹事会の構成員、やちよ男女共同参画プラン懇話会委員 八千代市女性団体連絡協議会会員						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。平成20年度業務の進捗状況調査を実施し、結果を男女共同参画推進会議幹事会及び推進会議の委員に文書で報告し、意見を伺った。やちよ男女共同参画プラン懇話会を開催し進捗状況を報告し、意見を頂いた。市内事業所に対して男女共同参画社会形成に向けての市民意識調査を実施。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。 ※平成22年度に計画していること： 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。平成20年度業務の進捗状況調査の実施。八千代市男女共同参画推進会議・幹事会の開催。やちよ男女共同参画プラン懇話会の開催。第3次やちよ男女共生プラン策定。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。ホームページによる情報提供の充実。						
意図 （何を狙っているのか）	男女共同参画社会に関する施策の共通認識と意識の啓発に努める 男女共同参画社会づくりの必要性や男女平等意識づくりの推進						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	20年度		21年度	
				実績		計画	実績
対象指標	指標1	男女共同参画推進会議・幹事会委員の数。懇話会委員の数	人	31		31	31
	指標2	八千代市女性団体連絡協議会会員の数	人	168		168	152
	指標3	成人男女市民の数	人	153,708		152,222	154,469
活動指標	指標1	推進会議・幹事会・懇話会の開催回数	回	1		3	1
	指標2	各種調査の実施	回	2		2	2
	指標3						
成果指標	指標1	性別分業意識にとらわれなくなった人	%	43.2		50	33.5
	指標2	審議会等における女性委員の登用率	%	30.6		33	29.9
	指標3	実施計画に基づいて実施された事業の割合	%	96.4		100	96.6
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4065	事務事業名称	男女共同参画推進事業				所属名	男女共同参画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			男女共同参画課と男女共同参画センターとの連携を図るとともに、各種調査、男女共同参画プラン懇話会、推進会議からの意見収集による調査研究や男女共同参画に関する情報誌の発行により啓発・啓蒙を図り、次期プランの策定に向け推進を図る。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			次期プランの策定により、事務の有効化が図られ、成果の向上が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
平成１５年３月定例会において、八千代市として男女共同参画を推進するための条例を制定する考えはないのか、また男女共同参画を市長部局に設置する考えはないのか、と質問があった。また平成１５年６月定例会において、審議会等における女性委員の割合と数値目標、管理職における女性職員の割合の質問があった。さらに平成１６年９月の定例会に、男女共同参画の施策を推進する部署が市長部局に位置付けられて庁内体制が整備されたことは評価する、さらに条例制定に当たり市民意識調査を行ってはどうか、その結果を踏まえて市民参画で条例制定することについての考えなどの質問があった。平成１５年３月定例会において、ワーク・ライフ・バランスの啓発推進について質問があった。１８年度の男女共生プラン懇話会においては、市民と協働で推進する目的の男女共同参画社会づくり啓発事業の報告を聞いた委員から、市民の発案・実施で行うことは素晴らしいので、さらにこのような取り組みが広がる事を願うと意見があった。２０年度の男女共生プラン懇話会においては、男性の家事・育児の共同参画の推進について意見があった。									

所属長コメント	男女共同参画推進事業は、「やちよ男女共生プラン」に基づき、家庭・地域・働く場等のあらゆる分野における男女共同参画を目指し、事業に取り組んでいるところだが、現状では女性の社会進出における条件整備や子育て支援・高齢者の介護支援を始めワーク・ライフ・バランス推進等幾つもの対応が求められている。これに対してやちよ男女共生プラン第２期実施計画に基づき事業所管課により課題解決を目指して取り組まれており、平成２１年度は９０．２％の事業が実施された。中でも働く場における農業等に携わる女性への支援として「家族経営協定」の締結が８件から１２件に増え当初の目標を達成した。また、審議会等における女性委員の登用状況は、目標値３０％に対して３０．１％となっており、目標が達成されたことは評価できる。平成２１年度において、男女共同参画社会形成に向けた市民意識調査を実施し、現状を把握したものを今後の施策推進に反映させていく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			男女共同参画の啓発・啓蒙については推進すべき。 また、次期計画の策定については、現計画の評価や男女共同参画の動向を勘案し、順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									